



2017.3.27(月) 19:00～20:45

@市役所会議室2 参加者 7人

幸せ実感広め隊は、幸せのモノサシづくりの一環で、地域活動を行っている人の取材を通して、その活動を広め、市民の幸せ実感を高めていくため、長久手人図鑑をつくっていきます。今回は、これまでの活動等のまとめとして「幸せのモノサシ」の全体案をまとめました。

◎こんなこと、話しました！

幸せのモノサシ、広め隊案が完成しました

ながくての幸せのモノサシの構造(仕組み)と長久手のまちづくりを進める上でのモノサシの役割を確認(裏面参照)し、前回考えたモノサシ案を補完するような指標について検討しました。



幸せのモノサシの構造

総合指標(目標)

地域で子供の笑顔を育てるまち

描写指標

観測データ

「未来まちづくりビジョン」を分かりやすく表現した指標であり、目標が「総合指標(目標)」です。

やや抽象的な総合指標のまちの状態を具体的に表現した指標が「描写指標」です。

描写指標を左右するまちの環境、人の行動のデータで、幸せ実感アンケートや市の事業等の成果指標などで把握するのが「観測データ」です。

描写指標

1. 日頃から笑顔で生活ができていると感じている
2. 大人も子どもも、地域の行事や活動に参加している
3. 安心して自宅にすることができる
4. 日頃から近所の人にあいさつをする、される習慣がある
5. 自分がこのまちの一員である(役割がある)と感じられる
6. 地域に愛着がある
7. 近所で声かけ合って、頼り、頼られる関係がある
8. 子どもたちの成長を身近に感じることができる

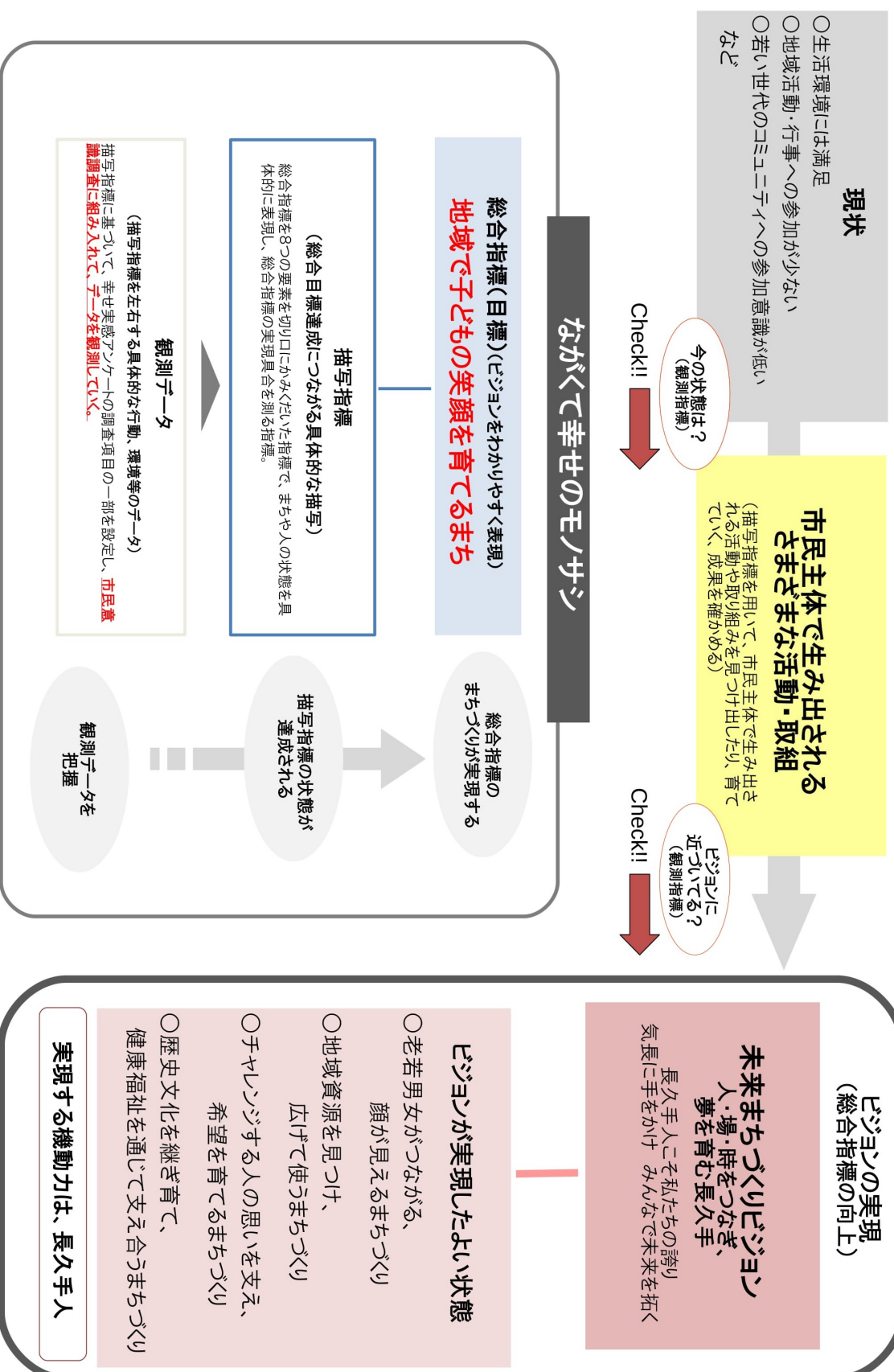
幸せ感のベースとなる「健康」や、社会的弱者の幸せ感も、描写の中に意味を含めて表現しました。また、「される(受動)」だけでなく、「する(能動)」視点も加えています。

観測データ(例)

- 日頃から心豊かな生活ができていると思う人の割合
- 健康的な暮らしができていると思う人の割合
- 地域の行事に参加している人の割合
- 地域で困った人への助け合いはできていると思う人の割合
- 日常的にあいさつや近所づきあいをしている人の割合
- 「たつせ」がある人の割合
- お住まいの地域には、自慢したい地域の「宝」があると思う人の割合
- 地域の子どもたちは、のびのびと育っていると思う人の割合
- 地域の子どもとあなたとのコミュニケーションは十分とれていると思う人の割合
- 公園や屋外の遊び場があるか など

左に挙げたのは、幸せ実感アンケートの項目で、主観データです。これに加えて、〇〇率、〇〇事業への参加者数などといった市が把握できる客観データも組み合わせて、描写指標を評価していくことが必要！という提案がありました。

市民主体のまちづくりにおける“ながくて幸せのモノサシ”の役割



◎今後は・・・

幸せのモノサシについて、広め隊案が完成したことを市民のみなさんにお知らせしていくための、リーフレット作成や、引き続き、長久手人の取材を行っています。



◎問合先

長久手市市長公室経営企画課
電話 0561-56-0600
メール keiei@nagakute.aichi.jp